

< 予算編成過程・KPIの公開【シートの見方】 >

こちらは例示です。

新規事業/投資的事業/変更事業/
臨時事業/その他事業 があります。

SDGs (Sustainable Development Goals)

とは、2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」で採択された17の持続可能な開発のための目標です。ここでは、事業に関連するゴール(目標)の番号を表示しています。それぞれのゴールの内容については、次ページをご参照ください。

査定の推移です。

要求額から市長査定額までの金額の推移を示します。

No. ◇◇		SDGs (持続可能な開発目標)																				
担当課室	事業名	事業区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
○○部△△△△課	●●●●公園整備事業	投資的事業																				
事業概要	××地域の市所有の○○倉庫跡地に街区公園を新設する。 本地域は市内全域と比較して公園の面積が少ない。特に東部地域は既存公園数が1か所しかなく、更には狭隘なため遊具・ベンチの数も少ない。そのため、本地域に複数の遊具と四阿(あずまや)を設置した公園を新たに設ける。バリアフリー化も充実させ、誰もが安全で安心して遊べるだけでなく、地域内の人々の行き交う拠点として整備する。																					
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額																			
①	②	増減(②-①)	③		増減(③-②)																	
60,000 千円	40,000 千円	△20,000 千円	50,000 千円		+10,000 千円																	
KPI	受益者など(見込)	××地域R●.10.1現在人口: 20,000人										④		対象1人あたり		2,500 円						
査定結果の理由等	地域内の公園の配置数を検討した結果、新たな設置は必要と認めたものの市全体の予算規模を踏まえて、遊具の一部と四阿(あずまや)1基の整備費用については一旦保留した。 その後、事業の優先度を考慮した結果、遊具の一部に限り復元した。四阿(あずまや)については、1か所で多くの人々が利用できるよう、要求内容を見直し、規模を大きくする一方で2基から1基に数を減らすことで、一部費用の計上を見送った。																					

KPI(Key Performance Indicatorとは、重要業績評価指標で目標の達成度を測るものです。ここでは、受益者など(見込)と対象1人あたりに換算した経費等(単価)を記載しています。

対象1人あたりの単価です。

市長査定額③÷受益者など(見込)④
(50,000千円÷20,000人=2,500円)